

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月25日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ウェッズ
 コード番号 7551 URL <http://www.weds.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川口 修
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 上村 定芳

TEL 03-5753-8201

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	18,287	8.4	1,069	69.2	1,094	74.7	627	86.9
23年3月期第3四半期	16,872	10.6	632	59.0	626	36.2	335	17.8

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 566百万円 (979.9%) 23年3月期第3四半期 52百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	149.38	—
23年3月期第3四半期	79.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	14,734	7,140	48.5	1,700.42
23年3月期	11,938	6,658	55.8	1,585.60

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 7,140百万円 23年3月期 6,658百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,500	5.5	830	50.1	830	54.9	380	77.9	90.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	4,445,000 株	23年3月期	4,445,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	245,841 株	23年3月期	245,841 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	4,199,159 株	23年3月期3Q	4,199,208 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続きを実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件等については、[添付資料]3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結累計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、昨年1月以降景気の足踏み状態から脱却するかに見えました。3月に発生した東日本大震災及び福島第1原発問題に伴う節電の影響で、個人消費の低迷、輸出の減少等で今後の景気回復や企業業績の業況に先行き不透明な状況になりました。また、海外の情勢においても、ギリシャの財政危機を引き金とした欧州財政不安、原油や非鉄金属等の国際商品市況の高騰、北アフリカ・中東情勢の緊迫化、さらには円高の進行により予断を許さない状況が続いております。当社グループと密接な関係にある自動車業界や自動車用品のアフターマーケットの需要も同様に低調に推移しております。

このような環境において、当社グループは積極的な営業活動と利益体質強化に努めた結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は自動車関連卸売事業の増収により18,287百万円（前年同期比8.4%の増収）、営業利益は自動車関連卸売事業の増益により1,069百万円（前年同期比69.2%の増益）、経常利益は1,094百万円（前年同期比74.7%の増益）、四半期純利益は627百万円（前年同期比86.9%の増益）の増益になりました。

（セグメント別の概況）

（単位：百万円）

		自動車関連卸売事業	自動車関連小売事業	開発事業	福祉事業	その他	調整額	連結
売上高	当第3四半期連結累計期間	15,973	1,194	—	546	628	△55	18,287
	前第3四半期連結累計期間	14,288	1,212	403	517	516	△65	16,872
セグメント利益又は損失（△）	当第3四半期連結累計期間	1,004	21	—	11	29	1	1,069
	前第3四半期連結累計期間	606	△23	5	41	0	2	632

第1四半期連結累計期間より、事業セグメントの利益（又は損失）の測定方法を変更いたしました。

内容及び影響額につきましては、「第4 経理の状況 セグメント情報等」をご参照ください。

（自動車関連卸売事業）

自動車関連卸売事業は個人消費は依然として低迷していますが、売上高は15,973百万円となり前年同期比1,684百万円（11.8%）の増収となりました。これは、当期に発表した高・中級アルミホイールの売上が好調に推移したこと冬季商材である廉価アルミホイールの売上が好調に推移したこと、加えてカー用品の売上が増加したためであります。したがって、セグメント利益は1,004百万円となり前年同期比397百万円（65.6%）の増益となりました。

（自動車関連小売事業）

自動車関連小売事業は個人消費は依然として低迷していますが、売上高は1,194百万円となり前年同期比17百万円の減収となりました。セグメント利益は21百万円となり前年同期より45百万円の改善となりました。

（開発事業）

平成23年4月1日を以って開発事業より撤退しました。

受注元の会社方針の変更により、受注元社内で機械等の発注及びメンテナンス管理等を内製することとなったためであります。

（福祉事業）

福祉事業の売上高は、546百万円となり前年同期比29百万円（5.6%）の増収となりました。セグメント利益は11百万円となり前年同期比29百万円（71.2%）の減益となりました。売上高については、老人ホーム事業は入居者も増え順調に推移しておりますが、第1四半期累計期間より事業セグメントの利益（又は損失）の測定方法の変更により営業費が増加したため減益となりました。

（その他）

携帯電話代理店事業の売上高は、558百万円となり前年同期比85百万円（18.0%）の増収、一昨年4月より開始した貸貸事業は69百万円となり前年同期比26百万円（63.1%）の増収、合わせて628百万円となり前年同期比112百万円（21.7%）の増収となりました。これは新型携帯電話への新規需要が順調に推移しているためであります。セグメント利益は29百万円となり前年同期比29百万円の改善となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産額は14,734百万円となり、前連結会計年度末比2,795百万円の増加となりました。主たる要因は、販売額増加に伴う受取手形及び売掛金が2,690百万円増加し、商品在庫が219百万円増加したことによるものです。負債総額は7,594百万円となり前連結会計年度末比2,313百万円の増加となりました。主たる要因は短期借入金が1,489百万円の増加と仕入債務871百万円の増加であります。これらの結果、純資産額は7,140百万円となり前連結会計年度末比482百万円の増加となりました。主たる要因は利益剰余金が543百万円増加した一方繰延ヘッジ損益が59百万円減少したためであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成24年3月期通期（連結・個別）の業績予想を修正しております。詳細は平成24年1月25日付にて別途開示しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,056,232	1,208,228
受取手形及び売掛金	2,824,576	5,515,147
商品	1,593,377	1,812,946
仕掛品	214,733	261,007
原材料及び貯蔵品	81,586	76,465
繰延税金資産	208,859	169,950
その他	361,844	189,195
貸倒引当金	△3,100	△8,590
流動資産合計	6,338,109	9,224,350
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,597,611	3,624,646
減価償却累計額	△1,377,117	△1,469,624
建物及び構築物(純額)	2,220,493	2,155,022
土地	1,705,150	1,705,150
その他	600,751	571,066
減価償却累計額	△435,888	△408,907
その他(純額)	164,863	162,158
有形固定資産合計	4,090,507	4,022,331
無形固定資産		
のれん	178,300	165,325
その他	89,874	71,451
無形固定資産合計	268,174	236,776
投資その他の資産		
投資有価証券	703,747	725,567
繰延税金資産	33,801	55,677
その他	507,452	470,484
貸倒引当金	△2,850	△250
投資その他の資産合計	1,242,151	1,251,479
固定資産合計	5,600,832	5,510,586
資産合計	11,938,942	14,734,936

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,032,686	1,904,308
短期借入金	1,539,926	3,029,660
未払法人税等	169,874	357,556
携帯電話短期解約返戻引当金	92	243
賞与引当金	149,527	68,618
役員賞与引当金	32,200	19,050
その他	596,156	767,013
流動負債合計	3,520,464	6,146,449
固定負債		
長期借入金	1,132,538	896,370
繰延税金負債	84,495	80,488
退職給付引当金	57,227	78,113
役員退職慰労引当金	141,446	59,153
資産除去債務	18,918	19,242
その他	325,661	314,786
固定負債合計	1,760,287	1,448,153
負債合計	5,280,752	7,594,602
純資産の部		
株主資本		
資本金	852,750	852,750
資本剰余金	802,090	802,090
利益剰余金	5,123,406	5,666,708
自己株式	△96,131	△96,131
株主資本合計	6,682,114	7,225,417
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,066	20,396
繰延ヘッジ損益	△48,379	△108,060
為替換算調整勘定	1,388	2,580
その他の包括利益累計額合計	△23,924	△85,083
純資産合計	6,658,190	7,140,334
負債純資産合計	11,938,942	14,734,936

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	16,872,649	18,287,334
売上原価	13,245,443	14,215,979
売上総利益	3,627,206	4,071,354
販売費及び一般管理費	2,994,960	3,001,777
営業利益	632,245	1,069,576
営業外収益		
受取利息	449	609
受取配当金	10,498	7,858
持分法による投資利益	29,233	49,158
その他	6,049	7,501
営業外収益合計	46,230	65,127
営業外費用		
支払利息	30,440	25,394
為替差損	17,291	13,874
その他	4,318	964
営業外費用合計	52,050	40,233
経常利益	626,425	1,094,470
特別利益		
投資有価証券売却益	—	11
特別利益合計	—	11
特別損失		
投資有価証券評価損	—	13,567
固定資産除却損	3,194	4,546
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12,917	—
会員権評価損	4,000	—
特別損失合計	20,111	18,114
税金等調整前四半期純利益	606,313	1,076,368
法人税、住民税及び事業税	281,101	398,490
法人税等調整額	△10,457	50,591
法人税等合計	270,644	449,082
少数株主損益調整前四半期純利益	335,669	627,285
四半期純利益	335,669	627,285

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	335,669	627,285
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,051	△2,669
繰延ヘッジ損益	△281,063	△59,680
為替換算調整勘定	2,868	1,191
その他の包括利益合計	△283,245	△61,158
四半期包括利益	52,423	566,126
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52,423	566,126

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	自動車関連 卸売事業	自動車関連 小売事業	開発事業	福祉事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	14,225,844	1,211,250	403,624	517,640	16,358,359	514,289	16,872,649	—	16,872,649
セグメント間の内部売上高又は振替高	62,821	1,204	170	—	64,196	1,723	65,919	(65,919)	—
計	14,288,666	1,212,454	403,794	517,640	16,422,555	516,013	16,938,569	(65,919)	16,872,649
セグメント利益又は損失(△)	606,380	△23,545	5,071	41,440	629,346	888	630,235	2,010	632,245

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話代理店事業、賃貸事業であります。
2. セグメント利益の調整額2,010千円は、セグメント間取引消去であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	自動車関連 卸売事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	15,918,649	1,193,934	546,728	17,659,312	628,021	18,287,334	—	18,287,334
セグメント間の内部売上高又は振替高	54,768	678	—	55,446	44	55,491	(55,491)	—
計	15,973,417	1,194,613	546,728	17,714,759	628,066	18,342,825	(55,491)	18,287,334
セグメント利益又は損失(△)	1,004,048	21,645	11,949	1,037,643	29,972	1,067,615	1,960	1,069,576

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話代理店事業、賃貸事業であります。
2. セグメント利益の調整額1,960千円は、セグメント間取引消去であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(1) 主な事業内容の変更に伴う報告セグメントの変更等

平成23年4月1日を以って開発事業より撤退しました。

受注元の会社方針の変更により、受注元社内で機械等の発注及びメンテナンス管理等を内製することとなったためであります。

(2) 事業セグメントの利益(又は損失)の測定方法の変更

前連結会計年度まで、連結子会社(株)バーデンの管理部門に係る営業費用は、各セグメントの売上高比率により配賦をしておりましたが、当連結会計年度より、開発事業の撤退に伴い、各セグメントの経営成績の実態をよりの確に把握することを目的に配賦方法を再検討した結果、従業員の就業時間比率により配賦を行う方法に変更いたしました。

なお、当該方法によった場合、Iに記載されている前第3四半期連結累計期間のセグメント利益は自動車関連小売事業で11,291千円、開発事業で21,206千円、その他の事業で7,236千円増加し、福祉事業で39,735千円減少致します。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。